

学校評価委員会に出席しました[会長]

投稿日：2016年6月24日 最終更新日時：2016年7月1日 作成者：サイト管理者 カテゴリー：[なんでも活動報告](#)

6月24(金)15:00から開催された学校評価委員会に出席しました。今回は第1回目で、次は9月、最後は2月に開催予定です。

出席するまでは何の事やらと思っていたのですが、大枠では以下のとおりです。

文部大臣通知により学校は評価されなくてはならない。

学校は自ら定めた経営目標に沿って具体策をもって努力する。

児童の学力・体力の向上も目標に含まれる。

これらを推進する教師にも行動計画と目標がある。

これら目標を達成するために短期から長期のPDCAサイクルで実施する。

その際、児童や保護者からアンケートを収集し評価に役立てる。

学校による自己評価を学校関係者評価委員が評価する。

これらの評価を基に学校経営の改善を継続する。

というものです。私の解釈なので、ちょっと間違えているかもしれませんがご容赦ください。

委員会の資料は下に掲示します。PDFファイルです。

[第1回学校関係者評価委員会資料](#)

私は保護者代表という立場で出席したのですが、最も大きいと思ったのが保護者一人ひとりが学校経営に関与できるということが分かったことです。

アンケートという形ですが、学校による子供たちの成長に資する方法が適切かどうかについて物申す機会があるのです。

このために重要なのが、子供たちの学校生活について家庭でしっかり聞く、参観日に参加する、その他学校行事に参加する、これら以外にもPTA活動においても知る機会を増やすというものです。

アンケート形式なので、知らないと書けませんから。やはり「知る」というのは大切ですね。

学校や家庭での子どもの環境改善を図るために、何が必要で何が足りないのか、限られた時間などの資源を何に振り向けるべきなのか。

学校の役割、家庭での役割を見つめなおす良い仕組みだと感じました。